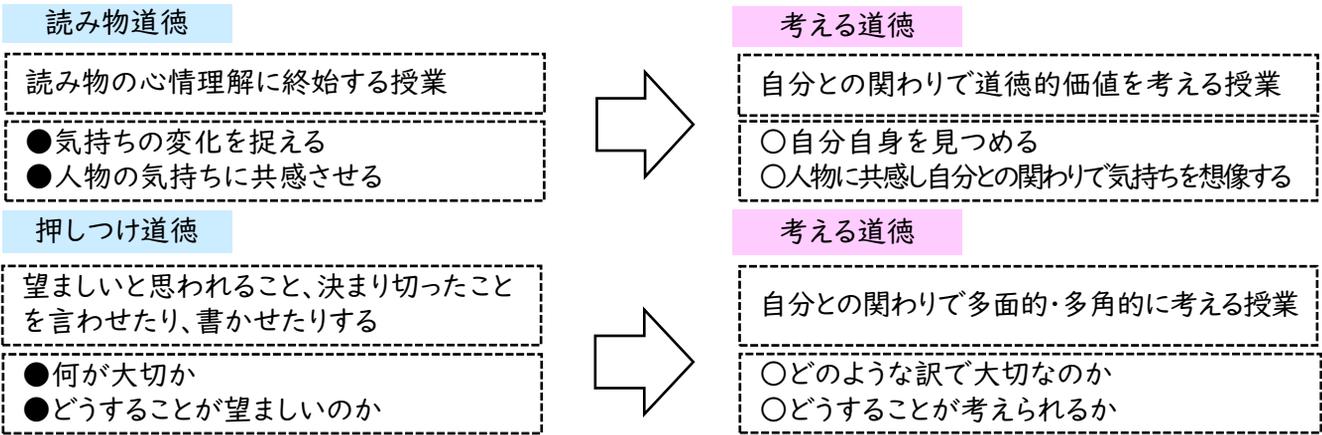


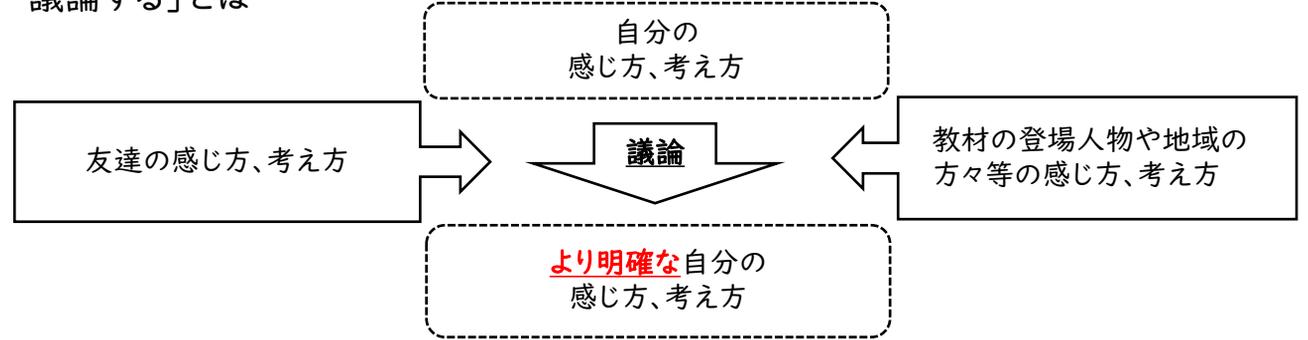
# 「考え、議論する道徳」の授業づくり

## (1) 「考える」とは



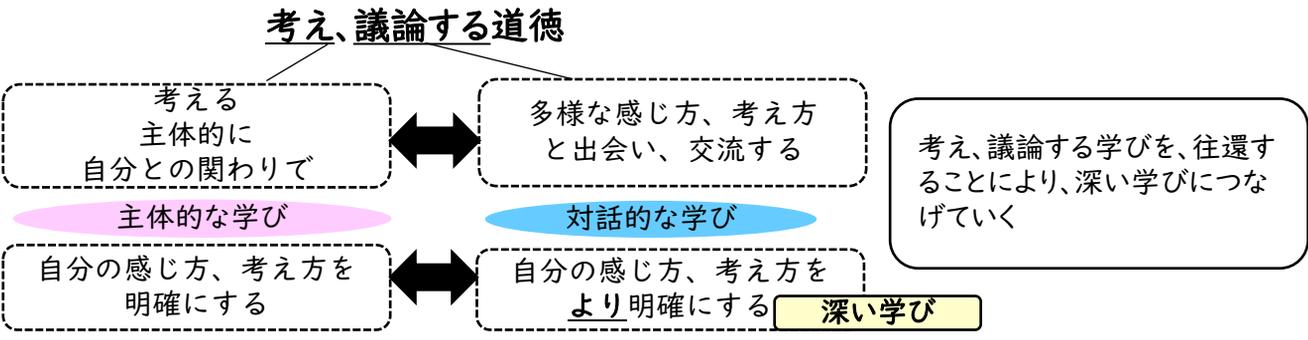
「**自分との関わり**」で、「自分だったらどのように考えるか」「自分だったらどのように行動するか」など、自分の経験や体験と照らし合わせながら考えたり、これからの課題や目標を見付けたりする。

## (2) 「議論する」とは



これまでの自分の経験等による思考の偏り、傾向は誰にでもあるもの。他者との対話を通して、新たな考えに触れ、選択の幅が広がることで、自分の感じ方、考え方をより明確にする。

## (3) 「考え、議論する道徳」とは



- ★「考え、議論する道徳」の実現のために、「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善を図っていく
- ・ 問題意識をもつ
  - ・ 自分との関わりで捉えて考える
  - ・ 多面的・多角的に考える
  - ・ 自らを振り返る
  - ・ 自己の生き方について考えを深める
- ⇒ 授業のねらいに沿って、具体的にどのような工夫をしていくことが考えられるか

## (4) 道徳科の授業構想の手順

### ① 内容項目を確認する

学習指導要領解説の「第2節 内容項目の指導と観点」各内容項目の「指導の要点」を確認する。

### ② 児童生徒の実態を把握する

これまでの児童生徒への指導を振り返り、良さや課題を確認し、本時に学ばせたいことを明らかにする。

### ③ 指導の重点を明確にする

児童生徒の実態を踏まえ、ねらいや本時に考えさせたいことを明確にする。

### ④ 教材を吟味する

ねらいを達成するための教材の活用方法、学習の中心を明らかにする。

### ⑤ 学習指導過程を構想する

ねらいを達成するためには、児童生徒の実態や教材に応じて、最も適切な指導方法を工夫することが必要。「道徳科に生かす指導方法の工夫」を生かした授業づくりを進める。

## (5) 道徳性を構成する4つの諸様相

道徳的  
判断力

それぞれの場面において **善悪を判断する能力**。人間として生きるために道徳的価値が大切であることを理解し、様々な状況下において人間としてどのように対処することが望まれるかを判断する。

道徳的  
心情

道徳的価値の大切さを **感じ取り、善を行うことを喜び、悪を憎む感情のこと**。人間としてよりよい生き方や善を思考する感情であると言える。

道徳的  
実践意欲  
態度

道徳的判断力や道徳的心情によって **価値があるとされた行動をとろうとする傾向性**。実践意欲は、道徳的判断力や道徳的心情を基盤とする道徳的価値を実現しようとする意志の働き。道徳的態度は、それらに裏付けされた具体的な道徳的行為への身構え。

### 道徳科の目標に示された学習活動

- ・問題意識をもつ
- ・自分との関わりで捉えて考える
- ・多面的・多角的に考える
- ・自らを振り返る
- ・自己の（人間としての）生き方についての考えを深める

### 道徳科に生かす指導方法の工夫

ア 教材を提示する工夫    イ 発問の工夫    ウ 話合いの工夫    エ 書く活動の工夫  
オ 動作化、役割演技などの表現活動の工夫    カ 板書を生かす工夫    キ 説話の工夫